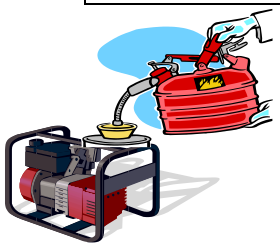
露店からの出火防止について

平成２５年８月１５日に福知山市の花火大会において露店から火災が発生しました。この火災において多数の死傷者が発生しました。楽しいイベントが悲惨な現場とならないように火気の取り扱いについて下記の点に十分注意していただきますようお願いいたします。

チェック欄	露店における火気管理項目
□	コンロ等の裸火を使用する器具（以下「器具」という。）本体に不具合がないか?
□	風除けのために器具の周囲に可燃物が使用されていないか?
□	風等により器具に接触する物品が置かれていないか?
□	コンロ等を設置する台は木材等となっていないか?
□	ＬＰＧボンベの設置位置、転倒防止策並びにホースバンドによる器具及びボンベ接続は適当であるか?
□	ＬＰＧボンベに接続するホースの長さは適当なものであるか、長い場合は適切にまとめられているか?
□	ＬＰＧボンベの口に分岐がされ、片方が使用されていない場合は確実にコックが停止位置にあるか?
□	発電機等に使用する燃料携行缶は直射日光等が当たらない場所で保管しているか?
□	燃料携行缶は、消防法令に適合した容器であるか？容器に漏れ、変形等は無いか？
□	発電機等に給油する場合は、発電機の運転を停止し、かつ、周囲に火気の取扱いがない場所で行っているか?
□	燃料携行缶から燃料を給油する場合は、必ずエアー(圧)抜きを行ってからキャップを開けているか？ ※携行缶内部は、内圧が高くなっており、ガソリンが吹き出て引火する危険があります。圧抜きを実施してから給油して下さい。
□	消火器具（水バケツ・消火器等）の準備がされているか?



東近江行政組合消防本部

消防本部	0748-22-7600	日野消防署	0748-52-0119
近江八幡消防署	0748-33-5119	能登川消防署	0748-42-0119
八日市消防署	0748-22-7610	愛知消防署	0749-45-4119

福知山市花火大会火災を踏まえた
イベント会場等におけるガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

《ガソリンの特性》

- 引火点は－４０℃程度と低く、極めて引火しやすい。
- 揮発しやすく、その蒸気は空気より約３～４倍重いので、滞留しやすく可燃性の雰囲気が広範囲に形成されやすい。
- 電気の不良導体であるため、流動等の際に発生した静電気が蓄積しやすい。

《貯蔵・取扱い時の留意事項》

- ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発する機械器具等を用いない。例えばガソリンを取り扱っている場所から1m離れた場所に置かれた洗濯機で火災に至った事例や、火気や火花がなくても人体に蓄積された静電気で火災に至った事例が報告されており、ガソリンを取り扱う場合は細心の注意を払わないと容易に火災に至る危険性があります。
- 静電気による着火を防止するためには、金属製容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、消火器を必ず準備しましょう。
- ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温部から離れた直射日光の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。特に夏期においてはガソリン温度が上がってガソリン蒸気圧が高くなる可能性があることに留意しましょう。
- 取扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作等、取扱説明書等に書かれた容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう。
- ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。

ガソリンの貯蔵に適した容器の例
（金属製容器であることが必要）

ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
（樹脂製容器は火災危険性が高い）